

Ⅰ 教育目標	
◎自らすすんで取り組む（重点目標）	
○考える子 ○思いやりのある子 ○じょうぶな子 ○やりぬく子	

Ⅱ 経営方針	
目指す学校像	～ 一人一人の子どもの笑顔が 光り輝く学校～ ○【子ども】全ての子どもが、安心できる居場所のある学校「通ってよかった！」 ○【保護者・地域】地域に開かれ、地域と共に歩む学校「通わせてよかった！」 ○【教職員】愛情深く、同僚性を高め合える教職員の学校「勤めてよかった！」
目指す児童像	◎自ら考え、主体的に判断し、行動する児童（今年度重点） ○自分も友達も大切にする、思いやりのある児童 ○困難に負けず、最後まで粘り強く取り組む児童 ○心身ともに、健康で逞しく生きる力を育む児童
目指す教師像	○子どもに寄り添い、心から愛情深く接する教師 ○プロ意識をもち、「授業改善」に向けて、常に学び続ける教師 ○「チーム@二葛西」の一員として、互いに同僚性を高め合える教師
経営理念	予測困難な社会を生き抜くために、小学校では、自分の居場所があり、命の大切さを実感できる居心地のよい場所をつくる役割が求められている。また、自分の考えを表現する能力を身に付け、自分だけではなく、他人を理解しようと努力をする児童を育成していかなければならない。 開校93年の歴史と葛西地区の伝統を継承し、「何を残し、何を变えずに守り通していくのか。」を見極め、江戸川区が目指している「人生100年時代に生きる子どもたちを支える基盤的学力の確立」に向けて、新しい第二葛西小学校を創成していく。

Ⅲ 経営目標		
重点領域1		確かな学力の向上（考える子）
中期経営目標	基礎・基本の定着に取組み、校内研究と連動した授業スタイルの確立を図っていく。	
短期経営目標	・江戸川区学力向上プロジェクトを通して、基礎・基本の定着を図った取組を行う。 ・放課後補習・自習教室に取り組み、学ぶ意欲を高める指導を充実させていく。 ・図書資料などを活用して、探究学習の素地づくりを行っていく。	
項目	努力指数（教師側）	成果指標（子ども側）
1	「江戸川区学力向上プロジェクト」の指導を徹底し、基礎・基本を重視した「授業スタンダード」を意識した授業構成について、90%以上の定着を図る。	学習に関するアンケート項目「授業が分かりやすい」において、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
2	個別最適な学びと協働的な学びの推進のため、一斉指導から「自分で学びを計画・選択」できるような授業展開を一単元の中で1単位時間以上設定する。	学習に関するアンケート項目「やる気をもって授業に取り組んでいる」において、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

3	一人一台のタブレット端末を毎日1回以上活用し、基礎的・基本的な学習内容を図るとともに、個別最適な学びと協働的な学びの充実を図る。	学習に関するアンケート項目「タブレットを学習に役立てている」において、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
4	読書科や他教科においても、計画的に調べる姿勢を定着させ、日常的な探究学習に取り組む。	「調べる学習コンクール」に応募する児童の割合を80%以上にする。
5	「ことばの力」を育成する手立ての一つとして、全校朝会にて、毎月1回暗唱に取り組み、語彙力を育成し、言語感覚を磨く。	詩の「暗唱コンクール」（全国SLA主催）に応募する児童30人以上を目指し、全校で言葉のリズムを体感できるよう朝会で取り組む。

重点領域2		豊かな心の育成（思いやりのある子）
中期経営目標	「自分も相手も大切に」多様性を認め合う児童を育成していく。	
短期経営目標	- 全教育課程の中で、「二葛西小の約束」をベースに、心を育てる人権教育を推進する。 「チーム@学年」で「学年全児童を見守る」意識を全職員がもち、多様なかかわり合いの中で、基本的な生活指導の充実を図る。 - 自他を尊重する指導を徹底し、いじめの未然防止・早期発見・早期解決に努める。 - 通常学級と特別支援学級との交流・共同学習を推進していく。	
項目	努力指数（教師側）	成果指標（子ども側）
1	自分の居場所や命の大切さを実感できる居心地のよい学級（教科）経営を目指し、自他の違いやよさを相互理解することができる活動を行う。	学校生活に関するアンケート項目「学校が楽しい」において、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
2	主体性・自主性・協働性を育成するため、委員会活動や学級での係・当番活動の充実を推進し、自己有用感や自己肯定感の向上を図る。	学校生活に関するアンケート項目「当番や係、委員会活動をしっかりやっている」で、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
3	全ての児童が校門で、挨拶当番を行うとともに、児童代表委員会の活動にも位置付け、いつでも自分から挨拶できるよう、日常的に指導を継続する。	学校生活に関するアンケート項目「子どもたちは、挨拶をしている」において、肯定的に回答する保護者の割合を80%以上にする。
4	「L-Gate 毎日の記録」を活用して、心の健康観察を行い、友達のよさを認め合う取組の充実を図り、いじめの未然防止を徹底する。	学校生活に関するアンケート項目「相手の気持ちを考えて行動している」において、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
5	教科・領域の指導や学校行事において、共に学ぶ機会を積極的に進め、一人一人の実態に応じた多様な形での交流・共同学習を進める。	学校生活に関するアンケート項目「相手の気持ちを考えて行動している」において、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

重点領域3		健やかな身体の育成（じょうぶな子）
中期経営目標	体力を高める日常的な取組や授業の充実をととして、健康でたくましい児童を育成する。	
短期経営目標	- 体育の授業における「運動量の確保」の徹底を目指し、体力向上を図る。 - 自らが立てた体育のめあての達成に向けて、児童の健全育成を図る。 - 安全教育の改善・充実を図り、自らの健康の保持増進に努める児童を育成する。	
項目	努力指数（教師側）	成果指標（子ども側）

1	全校運動遊びや元気アップタイム、毎時間の体育の授業における「運動量の確保」を意識して、体力を高めようとする児童の意欲の向上を図る。	学校生活に関するアンケート項目「体力を高めるために、体を動かしている」と回答する児童の割合を80%以上にする。
2	目標をもって体力・運動能力調査に取り組ませ、達成状況を記入する「チャレンジカード」を活用して、児童の体力向上の機運を高めさせる。	体力・運動能力調査において、自分が立てた目標数値を超える児童の割合を80%以上にする。
3	自分の身体や健康への関心をもたせ、食に関する全体計画、保健指導の全体計画等に基づいて、年間を通して、児童の意識の向上を図っていく。	学校生活に関するアンケート項目「健康や安全に気を付けて生活している」において、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

重点領域4		地域に開かれ、地域とともに歩む学校づくり（やりぬく子）
中期経営目標	葛西地区の特色を生かした教育活動の推進と家庭・地域との連携の強化を図る。	
短期経営目標	- 学校への理解や協力を得るための情報を、保護者や地域に積極的に発信していく。 - 葛西地域の一員である自覚をもち、「地域に何ができるのか」を考えられる児童の育成を目指す。 - 保護者、地域の教育活動の活性化を、PTA やおやじの会、学校応援団とともに推進していく。	
項目	努力指数（教師側）	成果指標（子ども側）
1	学校ホームページは毎日1回以上更新を行い、学校掲示板や学校だより等を活用して、保護者・地域へ情報を発信していく。	学校関係者評価、保護者アンケートの学校の情報発信について、肯定的に回答する保護者の割合を80%以上にする。
2	葛西地区の一員である自覚をもたせ、児童の愛校心を醸成できる教育活動を年1回以上実施して進めるとともに、計画的な地域学習を取り入れる。	学校関係者評価の保護者アンケート項目「地域への対応は適切か」で、肯定的に回答する保護者の割合を80%以上にする。
3	各学年の発達段階に応じた教育活動を、PTA やおやじの会、学校応援団と共に考え、学校運営や教育活動の充実につなげる。	児童自らが地域を支える人材になるよう、地域行事に積極的に参加する児童の割合を50%以上にする。